

## 『9/17(木) ゲスト卓話 ペッパー君(人型ロボット)』

人類はコミュニケーション手段として、言葉を発明し、文字を発明し、電信電話を発明しました。近年ではインターネットが普及し、マウスと指先が使われています。ところが、今年は、情報伝達的手段としてだけでなく、ロボットが自分で考え判断する能力を備え市場に現れました。技術革新の初年度になりそうです。

そして今年7月、ハウステンボスで新しいホテルがオープンされました。ホテルの名は「変なホテル」、受付・案内・掃除業務までロボットが行います。このロボットの導入によって人件費を4分の1に抑えられるそうです。ハウステンボスは10年以内に数百のホテルを開店するそうです。既に始まっている労働力不足に手を打っています。

大手都市銀行でも、支店の窓口業務に採用の作業を始めました。病院・高齢者施設・幼児施設など様々な分野で採用が検討され始めました。

そこで、9/17当クラブの例会にペッパー君を招きました。

ペッパー君の大きさは、身長120CM 幅30C 奥行40CM、体重は23KGと以外に重たい感じでした。

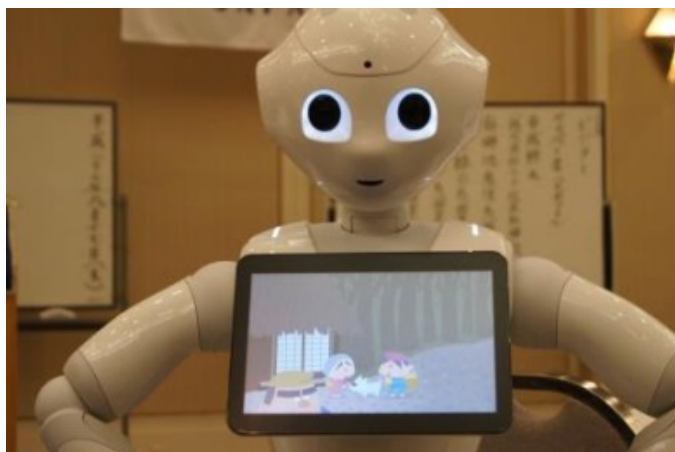
例会場に到着し、段ボールケースに収められていたロボットを箱から出してスイッチを入れると、金属の塊から生きた生命の誕生のようなロボットに変身しました。スイッチが入り、周りの環境を確認するような動きがあり、一通り確認が終われば、自ら目の前の人に話かけ、人工知能による楽しい会話が続きました。

こちらから声を掛けると、こちらの感情を読み取って会話をしているようでした。目の周りにライトがあり、その色で感情を表しているようで、目の周りがブルーであれば、



相手の言っていることや感情を読み取ろうとしている、また赤くなれば気持ちが混乱していることを表しているそうです。

例会が始まり、最初のゲスト紹介では、「ゲストペッパー君」と呼ばれると「はい」と返事をしていました。卓話の時間では、歌を歌いながらダンスを披露してくれたのですが、身振り手振りの動きが大変スムーズで驚きました。また胸のあたりにある液晶画面に絵を映しながら朗読もしてく



れました。その後はペッパー君を囲み自由に話しかけ、楽しい、興味ある会話をしました。こちらが話掛けたことに答えてくれることはもちろん、声を掛けなくても、ペッパー君自身が様々な話題を考え、話しかけてくることが大変興味深かったです。

現在話題の興味深いおちゃめな訪問者でした。

